

秘められた善行

九州電力水保営業所

平国小学校六年の福山登代さん、福山信子さん、福田つよさん、開田光代さんの四人は、さる十一月三十日の朝、自宅（福浦）より登校の途中、風雨のため濡れた靴が滑り、電線を見つけた。しかし、電線は高圧の電線であり、危険な状態に陥り、切れた電線は危うくおそわっていた。その時、九州電力水保営業所の職員が駆けつけ、電線を安全に回収し、四人を救った。この善行は、前記の四人に学用品をおくった。

第三回定例議会

議会便り

昭和四十二年第三回定例議会が十二月二十一日に招集され、二日間行われ、提出された議案について慎重審議され、全議案原案において可決された。

議案の主な内容としては、
一、早害対策の一環として救護土木事業について、内野、小津奈木の溜池浚渫工事の補正予算
二、地方公務員の災害補償法の施行に伴って、議会議員、その他非常勤の職員の災害補償に関する条例
三、昭和四十三年度実施予定の干拓地開墾整備事業について、受益者から徴収する、分担金徴収条例
四、干拓地の保全について必要な事項を定める条例
五、赤崎の簡易水道を今度、水量

新年 謹賀



津奈木町の明日の発展を約束する干拓

津奈木

発行所 津奈木公民館
芦北郡津奈木町 (代表115番)
電話 編集人 岡松 壮
印刷所 緒方印刷所 八代市通町
電話(八代)代表3117番

津奈木町百年の足あと

みなさんおめでとごさいます。昭和四十三年の今年には、明治百年にあたり、明治元年をわが国新生のスタートといたしまして、大正昭和三代にまたがる発展の足あとを振り返ります。

新春を迎えて

津奈木町議会議長 福村広人

新年おめでとごさいます。町民のみならず、希望あふれる新春をおむかえになったこと、拝察、心からお喜び申し上げます。昨年は、七十数年ぶりの大旱ばつで、住民生活に不安と甚大な被害をもたらしましたが、他方、地方自治制度が民主化されてから、二十周年にあたるきわめて意義深い年でありました。今後、地方自治がさらに進展を遂げるか、あるいは退潮して行くか、まことに重大な年だと申せましょう。最近、わが国は国際競争

内野駅伝

内野駅伝は元旦には例年朝早く、部活あけてお寺(光明寺)におまわりの電業所にお知らせくださるようお願いいたします。

本年こそ無事故で

消防団長 釜 忠

明けまして、御芽出度う御座ります。本年度は、明治百年になります。久しく警察の管下であった消防組が、自治消防として発足して、二十年の歩みを経て居ります。発足当時は、ことに御粗末な消防設備でありましたが、今日に於ては文化の発展と共に消防設備も発達して、皆さんの御期待に副い得るべきものと確信致して居りますが、年々火災の発生は増加して居り、本町におきましても残念ながら、無事故という訳には参りません。一朝事ある場合には、最少限で防止するよう、日頃の訓練に励んで居るようであり、本年こそ、無事故に終るよう町民各位の御協力と、御鞭撻を特別に御願い申し上げます。



○昭和42年12月28日午前2時40分ごろ
○千代神前橋と伊藤商店との中間の西がわ
○運転手・助手 即死
○居眠り運転
○積荷の鮮魚は30mの遠きにわたり散乱し前車輪は車軸と共に切断された。
(自動車の前輪の無いところ注意)

交通事故の名所を返上しよう

悲しい交通事故

年月日	場所	状況	人の被害	原因
12月18日	郵便局前	単車に普通貨物接触	右足甲を骨折(単車)	車の追越違反
12月26日	倉谷上	普通貨物接触	運転手、助手	スピード出し過ぎ
12月28日	千代	普通貨物接触	入院二週間	出し過ぎ
12月31日	神前橋下	転落	運転手、助手	居ねり
1月2日	川内入口	普通貨物接触	顔面等に三週間(自転車)	車の前方不注意
1月2日	三叉路	正面衝突	三人重傷・一人中傷(ライトバン)	スピード超過

交通戦争です！
一、国道三号線では、駐停車に注意し、物置を置かない。
二、スピードの出し過ぎ、酒のみ運転が事故の多く、いつも、どこでも安全運転。
三、歩行者は、いつも右側、まわり道でも横断歩道、どの車にも注意する。



- 隠密三国志 山手樹一郎
- 五十面の夢 八犬伝
- 三百六十五 源氏鶏太
- 七人の敵あり 三三三三三
- 火の誘惑 松本清張
- 二重奏 松本清張
- 砂の器 山崎豊子
- 黒の儀式 山崎豊子
- バラのアルバム 山崎豊子
- 外来語辞典 保健同人社
- 家庭の医学 保健同人社
- 胃腸病の百科 保健同人社
- 完全なる女性 保健同人社
- 道路図説 保健同人社
- 千一夜物語(一八) 黄小娥
- 易入門 黄小娥
- わが師が友 黄小娥
- 新しい印紙税 黄小娥
- 増改築の手引 黄小娥
- 便利な設備と新建材 黄小娥
- 住宅設計の仕方 黄小娥
- 華岡清洲の妻 有吉佐和子
- 日本を決定した百年 吉田茂
- 万延元年のフットボール 吉田茂
- マクルーパンの世界 吉田茂
- 手相の見方 吉田茂
- 高血圧低血圧の人々の食生活 吉田茂
- 資本論入門 吉田茂
- 自己催眠術 吉田茂
- 自分でできる二分間指圧 吉田茂
- 百万人の法律 池田政孝
- 民法入門 池田政孝
- ケネディ(上) 池田政孝
- 野ざらしの法帖 池田政孝
- 女の癖 池田政孝
- 恐喝 池田政孝
- 汚れた夜 池田政孝
- その他小説十冊の書名略 池田政孝
- 御来館をお待ちしています。 池田政孝
- 津奈木町立図書館(公民館内)

早害被害金

川内 西平論吉

私は昭和十年から毎年、筆別の稲の量、総収量、反当量、年平均など記録し、グラフを書いていますが、三十二年間のグラフが、四年目には不作がくることを教えてくれます。昨年はその四年目にあたりましたので、不作を予想して、病虫害の防除、肥料を必要経費も反当最高に使用して、農作であることに努力しましたが、あの早害で苦しい収量が終ったのでした。水田には二にも二にも先ず水が必要で、天を待たず、汲み水あるいは溜池改修も提案しました。一昨年までは問題にしていながら、町・県当局の努力にもかかわらず、わが津奈木にはありませんでした。稲の不作は所得の道を断たれ、生きる道を断たれたと同然であります。早害農家は死の宣告を受けた心地で、途方にくれていたものであります。そんな時、光を与えたのが早害被害金でありました。日ごろは共済掛金を支払うのがいやで、強制されてはたかなく払っていましたが、ところが昨年の早害被害金をうけと、農協へ農業代を支払うことができたのです。一昨年までは問題にしていながら

新購入 図書紹介

- 西郷隆盛(一〇) 林房雄
- 半七捕物帖(一五) 岡本綺堂
- かの子権乱 瀬戸内晴美
- 高血圧と心臓病 保健同人社
- 我が心は石であらず 保健同人社
- 血圧百科 保健同人社
- 日本故事物語 保健同人社
- 中国故事物語 保健同人社
- 西洋故事物語 保健同人社
- (四面へつて)

- 10 果樹指導所開所(昭和四十二年)
- 11 町立保育園開設(昭和四十九年)
- 12 水災奇病対策(昭和二十四年)
- 13 津奈木干拓(昭和三十三年)
- 14 渡果場開設(昭和三十三年)
- 15 有線放送開設(昭和三十三年)
- 16 中学校体育館新築(昭和三十三年)
- 17 国道三号線開通(昭和三十三年)
- 18 津奈木北線開通開始(昭和三十三年)
- 19 農業構造改善事業実施(昭和二十八年)
- 20 町制施行(昭和二十八年)
- 21 中央公民館新築(昭和四〇年)
- 22 鉄道複線化完了(昭和四二年)
- 23 阿蘇宮遷座(昭和四二年)
- 24 慰霊塔完成(昭和四二年)
- 25 各道路開通

った被害金が、これほど難しかったことはありませんでした。そして収か前の評議員の査定の的確さ、その後の係員の努力に感謝して居ります。昨年の十月、真白になった枯樹を刈るときは只然として、手足を機械的に動かすのみで、身も心も重く、農民のつらさを痛感しました。枯樹にもいけず、かの実がいつかいたのを痛が荒しても、ウソでいたためか、早害による被害金は比ぶべきもありませんので、さまで驚きもせず秋の取り入れ時を終りました。組織もたず、運動の方法すら知らない農民たちは、如何にして生かすか、と日夜をなやまして居るのですが、農業が日を迫るにつれ、かしくなり、経済的に身動きのできないほど苦しい、そして近年故に、今後の共済組合に期待するところが多々あります。

